

団体名		武蔵野市民防災協会				
事業内容	① 指標名	防災推進員の活動			目標値	5,200回
	過去の実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 回)	5,293	5,330	5,103	過去3年間は目標値をコンスタントに達成していて、令和2年は新型コロナウイルス感染予防の関係で若干の落ち込みがあった。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 昨年度、コロナ禍において様々な制限されているものの、手法を変えることで例年に近い活動数を行うことができたため、次年度についても例年通りの目標を設定する。				
取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①町なかの安全点検を引続き行っていく。(報告個所の経過等) ②避難所運営組織に対する積極的な活動の推進(協働、訓練への積極的参加) ③地域におけるイベントに積極的に関与し、防災に対する取組みを広報していく。					
財務	② 指標名	幹旋・販売事業			目標値	1,500千円
	過去の実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 千円)	1,929	1,546	1,443	平成30年度は、地震(大阪北部、北海道胆振東部)、7月豪雨、台風(20.21.24号)等の大規模災害が多く防災用品の購入が増加した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の関係で若干の落ち込みとなった。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 令和2年度はコロナ禍で売り上げが減少していたものの、配達事業を開始することや、取り扱う商品の精査を行うことで、例年に近い売上げをあげることができたため、例年通りの目標を設定した。				
取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 コロナ禍における事務所や出張での防災用品の販売については、適正な感染予防対策を行いながら、対面販売以外の手法を検討する必要があるため、無料配達による販売や、他の手法の検討を行い、市民の防災意識の維持・向上に努める。また、無料配達・新商品等の情報発信を在宅避難における備蓄の重要性の発信と合わせ、「ホームページ」「防災協会だより」で行う。					
内部管理	③ 指標名	職員の研修等への参加			目標値	10回
	過去の実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 回)	34	28	8	令和元年度は新型コロナウイルスの関連で研修等が中止となり、目標値に達しなかった。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのセミナーや研修会が中止となった。令和3年度においても、コロナ禍における状況が続くことが予想されるため、達成可能な目標値を設定する。令和4年度以降の目標については、今後のコロナ禍の状況を踏まえ、新たな目標や目標達成のための手法について検討していく。				
取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・コロナ禍における研修については、オンライン研修や自主研修など、状況に応じて新たな手法について積極的にを取り入れ、防災知識の向上や業務改善を目指す。					